



発行日 平成 19 年 4 月 16 日

<http://www.applenet.jp/~aosui/>

発行 青森県水産総合研究センター

TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778

住所 〒038-2761 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸 384-37

#### 4月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

### ●対馬暖流の勢力は平年並み（開運丸による4月分日本海定線観測結果）

<b>小 泊</b> (4月11~15日)		
ヤリイカ 棒受網 46隻	3,126kg	
(3,997kg) 定置網 34隻	871kg	
ウスメバル 一本釣 34隻	453kg	

<b>鰺ヶ沢</b> (4月11~15日)		
ヤリイカ 底建網 9隻	21kg	
(233kg) 底曳網 3隻	212kg	
マダラ 底建網 5隻	31kg	
(39kg) 底曳網 1隻	8kg	
サクラマス 底建網 7隻	160kg	
アブラツノザメ 底曳網 2隻	63kg	
タイ 底建網 3隻	27kg	
ウスメバル 底曳網 1隻	2kg	
マサバ 底建網 1隻	4kg	
(24kg) 底曳網 3隻	20kg	
マイワシ 底建網 1隻	23kg	

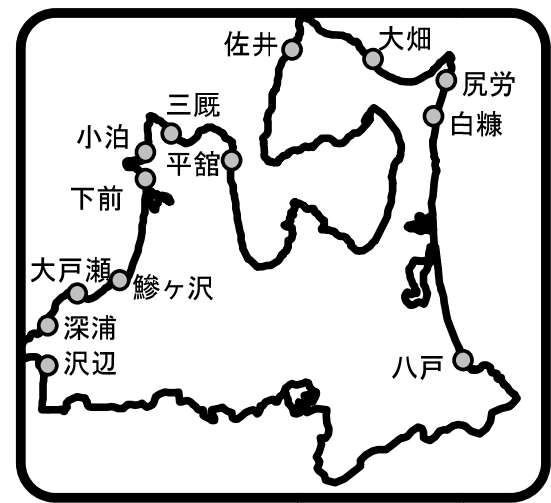
<b>三 厩</b> (4月11~15日)		
ヤリイカ 定置網 23隻	71kg	
ウスメバル 一本釣 13隻	262kg	
アブラツノザメ 延 縄 10隻	3,000kg	

<b>平 舘</b> (4月11~15日)		
定置網 77隻		
ヤリイカ	197kg	
スルメイカ	40kg	
マイワシ	6,370kg	
マサバ	718kg	
サクラマス	30kg	

<b>下 前</b> (4月1~15日)		
(取りまとめ中)		

<b>大 戸 瀬</b> (4月11~15日)		
(取りまとめ中)		

<b>大 畑</b> (4月11~15日)		
ヤリイカ 定置網 8隻	761kg	
(1,096kg) 底建網 13隻	335kg	
サクラマス 定置網 12隻	920kg	
(922kg) 底建網 2隻	3kg	
マダラ 定置網 2隻	7kg	
(17kg) 底建網 1隻	10kg	
ブ ー リ 定置網 10隻	48kg	
(49kg) 底建網 1隻	0.6kg	
ウスメバル 底建網 9隻	4kg	
(51kg) 籠 2隻	26kg	
一本釣 3隻	21kg	
刺 網 1隻	1kg	
タイ 底建網 1隻	8kg	
マサバ 定置網 1隻	1kg	
マイワシ 定置網 4隻	16kg	



<b>深 浦</b> (4月11~15日)		
(取りまとめ中)		

<b>沢 辺</b> (4月11~15日)		
(取りまとめ中)		

<b>白 糠</b> (3月21~25日)		
ヤリイカ 定置網 1隻	27kg	
(261kg) 一本釣 2隻	234kg	
サクラマス 定置網 1隻	335kg	
(1,577kg) 一本釣 158隻	1,242kg	
ウスメバル 一本釣 5隻	22kg	

(3月26~31日)		
ヤリイカ 定置網 2隻	42kg	
サクラマス 定置網 2隻	479kg	
(1,351kg) 一本釣 2隻	872kg	

(4月1~5日)		
ヤリイカ 定置網 1隻	105kg	
サクラマス 定置網 1隻	287kg	
(292kg) 一本釣 1隻	6kg	

(4月6~10日)		
ヤリイカ 定置網 2隻	795kg	
(813kg) 一本釣 1隻	18kg	
サクラマス 定置網 2隻	109kg	
(126kg) 一本釣 6隻	17kg	
ウスメバル 一本釣 5隻	72kg	

(4月11~15日)		
ヤリイカ 定置網 2隻	412kg	
サクラマス 定置網 2隻	67kg	
(106kg) 一本釣 11隻	39kg	
ウスメバル 一本釣 1隻	43kg	
マグロ 定置網 1隻	83kg	

<b>佐 井</b> (4月1~15日)		
(取りまとめ中)		

<b>尻 労</b> (4月11~15日)		
ヤリイカ 定置網 4隻	88kg	
ウスメバル 底建網 6隻	189kg	
サクラマス 定置網 5隻	228kg	

<b>八 戸</b> (4月6~10日)		
サケ 他 定置網 3隻	401kg	
(4月11~15日)		
サケ 他 定置網 1隻	105kg	

### 主要魚種の動き

○ヤリイカ (全漁法・4月11~15日)				
(日本海)	今回	前回比	漁期累計(8月~)	昨年同期累計比
小 泊	3,997kg	159%	31,137kg	64%
鰺ヶ沢	233kg	161%	143,393kg	90%
(陸奥湾)				
平 舘	197kg	46%	41,545kg	437%
(津軽海峡)				
三 厩	71kg	40%	15,595kg	106%
(太平洋)				
尻 労	88kg	63%	6,557kg	283%

○サクラマス (全漁法・4月11~15日)				
(日本海)	今回	前回比	漁期累計(12月~)	昨年同期累計比
鰺ヶ沢	160kg	148%	400kg	84%
(陸奥湾)				
平 舘	30kg	16%	3,112kg	948%
(津軽海峡)				
大 畑	922kg	264%	15,002kg	56%
(太平洋)				
尻 労	228kg	95%	6,752kg	39%

### ◎FRA-JCOPEについて

(独)水産総合研究センターは4月からFRA-JCOPEの運用を開始しています。これは(独)水産総合研究センターと(独)海洋研究開発機構が共同で開発した海況解析・予測システムで、太平洋及び我が国周辺の過去のデータが閲覧できます。2003年以降の表面、100m層の水温・塩分の分布図が掲載されています。また、2ヶ月先の予報データもみることができます。

(<http://ben.nrif.saffrc.go.jp/>)

**沿岸各地の水温**

日本海 11 台  
陸奥湾 6 ~ 9 台

(4月11~15日)

津軽海峡 9 台  
太平洋 8 ~ 9 台

今回は津軽海峡東側から太平洋北部で降温し、平均前回差は+0.1度となりました。

昨年と比べると、日本海側で+2.4度、津軽海峡側で+1.4度、太平洋側で+1.1度、陸奥湾内で+2.3度となっており、平均昨年差は+1.7度です。

平年と比べると、日本海側でかなり高め、太平洋側、津軽海峡側、陸奥湾内でやや高めとなっており、平均平年差は+1.0度となりました。

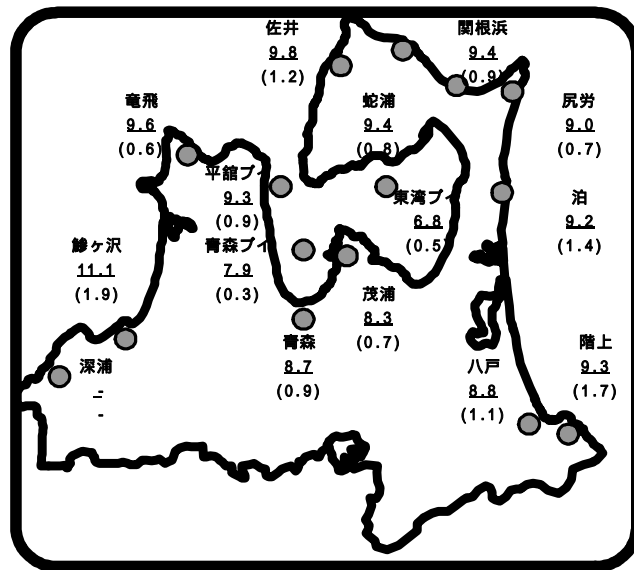


図 定地水温 (4月11~15日)  
平均値 (平年差) プイ 1 m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	-	-	-	-
鯨ヶ沢	11.1	+1.9	+2.4	+0.4
竜飛	9.6	+0.6	+1.6	+0.1
佐井	9.8	+1.2	+1.7	+0.1
青森	8.7	+0.9	+2.9	+0.0
蛇浦	9.4	+0.8	+0.7	-0.6
関根浜	9.4	+0.9	+1.5	-0.2
尻労	9.0	+0.7	+1.1	-0.8
泊	9.2	+1.4	+1.1	-0.4
八戸	8.8	+1.1	+0.3	+0.2
階上	9.3	+1.7	+1.7	+0.6
茂浦	8.3	+0.7	+1.9	+0.8
平館プイ	9.3	+0.9	+2.6	-0.6
青森プイ	7.9	+0.3	+1.9	+0.4
東湾プイ	6.8	+0.5	+2.1	+0.8
平均	9.0	+1.0	+1.7	+0.1

**太平洋の海況 (4月12~15日)**

概況; 沿岸水温は9 台

太平洋沿岸域の表面水温 9 台で前回と変わっていません。前年同期と比較すると、2~3度高い水温になっています。

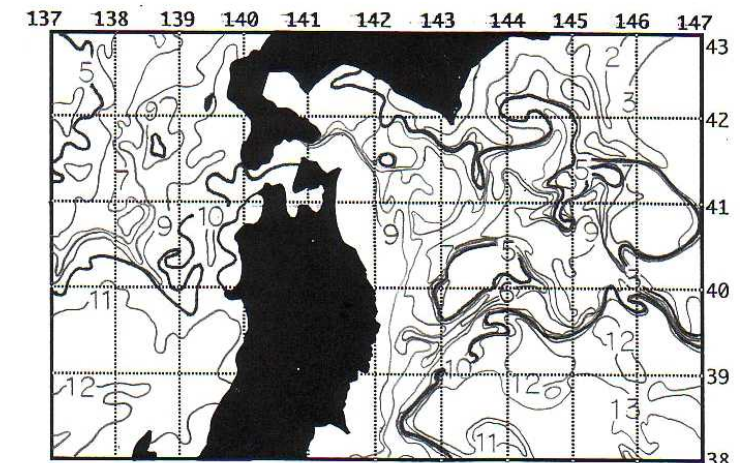
津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 7 等温線でみると東経 142 度付近までで、張り出しは前回と変わっていません。

親潮系冷水の南下 5 等温線でみると北緯 41 度 20 分付近までで、張り出しは前回よりも若干強まっています。

**日本海の海況 (4月12~15日)**

概況; 沿岸水温は9~10 台

日本海沿岸域の表面水温 9~10 台で、前回よりも1度ほど昇温しています。昨年同期と比較すると2~3度高い水温になっています。



資料: (社) 漁業情報サービスセンター  
北部太平洋海況情報 第5号 4月16日

**イカナゴ稚仔分布調査結果**

2007年3月16~17日にボンゴネット往復傾斜曳(水深0~50m)を行いました(図1)。今年の稚仔分布密度は前年よりも少なく、2004年と同程度となっています(図2)。稚仔の体長は4~7mmが多く、漁獲対象(25mm以上)になるまでにはおよそ1ヶ月ほどかかります。水温は例年並となっています。

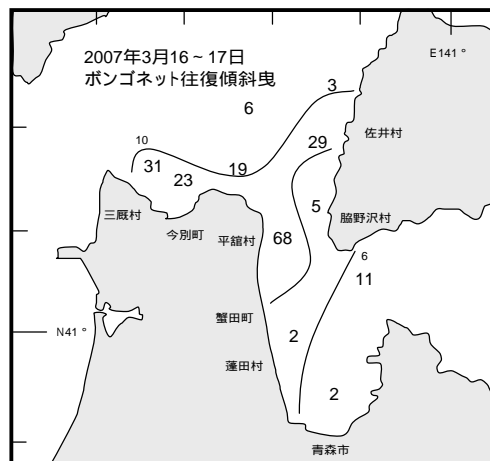


図1 ボンゴネット水深0~50m往復傾斜曳によるイカナゴ稚仔採集体数  
( ~ : St.No、数字: 採集体数)  
(水温は水深20m層)

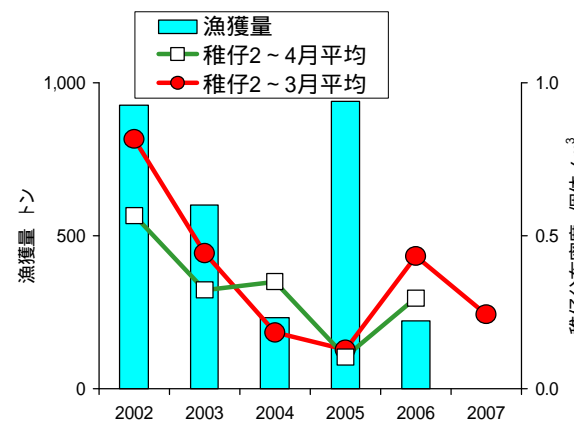


図2 イカナゴ稚仔分布密度の経年変化

**試験船情報**

試験船開運丸は4月12、13日で日本海の沿岸定線観測を行いました。観測結果は右表のとおりで、各層最高水温(表面、50m層、100m層)は平年差で+0.9~1.6度と表面ではやや高め、50m層ではかなり高め、100m層ではなはだ高い状態にありました。対馬暖流幅は艦作線、十三線で平年並みで、水塊深度はやや深く、北上流量はやや多い結果なっていました。対馬暖流の勢力としては平年並みであったものと思われます。

試験船青鵬丸は今週、大畑沖で流況調査を行う予定です。

**対馬暖流流勢指標4月**

4月12-13日; 開運丸

		2003	2004	2005	2006	2007	平年差	平年比
各層最高水温( )	0m	10.6	10.8	9.5	8.9	10.5	0.87	119
	50m	9.27	9.54	9.42	8.55	10.27	1.24	187
	100m	9.22	8.45	9.53	8.49	10.39	1.59	248
流幅(マイル)	艦作線	45.7	46.8	22.6	58.5	40.4	4.4	33
	十三線	79.2	39.0	79.0	48.0	45.2	9.6	-53
水塊深度(m)		211	136	221	216	242	32	82
北上流量		2.85	1.72	3.07	2.68	3.15	0.77	130